

自己点検評価報告書

平成21年6月

岐阜市立女子短期大学

目 次

I	短期大学の現況及び特徴	1
II	目的	2
III	基準ごとの自己評価	
	基準 1 短期大学の目的	4
	基準 2 教育研究組織（実施体制）	7
	基準 3 教員及び教育支援者	12
	基準 4 学生の受入	19
	基準 5 教育内容及び方法	25
	基準 6 教育の成果	38
	基準 7 学生支援等	46
	基準 8 施設・設備	52
	基準 9 教育の質の向上及び改善のためのシステム	56
	基準 10 財務	61
	基準 11 管理運営	65

I 短期大学の現況及び特徴

1 現況

(1) 短期大学名 岐阜市立女子短期大学

(2) 所在地 岐阜県岐阜市

(3) 学科等の構成

学科： 英語英文学科、国際文化学科、
食物栄養学科、生活デザイン学科

専攻科： なし

(4) 学生数及び教員数（平成21年5月1日現在）

学生数：学科533人

専任教員数：30人

助手数：4人

2 特徴

岐阜市立女子短期大学は、「戦後の復興は女子の高等教育にある」との高邁な理想を掲げて、昭和21年5月30日岐阜市長松尾国松によって設立された岐阜女子専門学校を前身としている。開校時は外国語科、保健科、被服科の3科、各40名、合計120名であった。昭和25年4月には男女共学の岐阜短期大学に改組され、英文科、家政科の2科、各40名、合計80名の定員で出発した。しかし再び女子の大学教育の振興に寄与する目的で、昭和29年に英文科80名、家政科100名の2科を擁する岐阜女子短期大学となった。

その後、時代の変遷に応じて数度学科を改組し、入学定員の変更を行っている。昭和63年には、岐阜市立女子短期大学と名称を変更している。岐阜県で唯一の公立短期大学として、地域の発展や文化の向上に寄与する優れた人材を輩出してきたが、科学技術の著しい進歩があり、国際化、情報化が急速に進展するとともに、女性の社会的な役割が大きく変化し、それとともに短大に対する期待も変化していった。

平成12年4月には、長良福光から現在の一日市場へ移転してキャンパスの拡張と建物の新営化を図ったのに伴い、学科の大幅な改組を行った。国際化時代に対応する目的で英文学科を英語英文学科と改称して、英会話などの実用英語を充実させた。また、被服学科を生活デザイン学科と改称して、これまでの被服材料の科学的な分析や、衣服の製作から、よりデザイン力育成に重点を置くとともに、アパレルのみならずインテリアの分野を新たに設けた。さらに、国際化・情報化の時代に対応する人材の育成をめざして、国際文化学科を新設した。

短期大学となって以後、平成21年3月までに1万2千

名余りの卒業生を輩出した。平成2年度までは教職課程をもっており、教職に従事したのも数多くいた。平成6年頃までは岐阜県と愛知県の地元からの入学者が圧倒的であったが、それ以後は、この2県以外の全国各地からの入学者が漸増し、現在では20%程度が2県以外から入学している。

英語英文学科では、平成5年に米国ケンタッキー州のトマスモア大学と姉妹校提携し、毎年夏季休業中に海外研修で当大学を訪れてきた。しかし、研修費用の高騰や交通の利便性などの理由から現在ではカリフォルニア州立大学サンマルコス校で研修を行うようになっている。

国際文化学科では、平成12年に米国サウスダコタ州にあるブラックヒルズ州立大学および韓国慶州にある威徳大学と、平成16年には中国杭州市にある浙江工業大学と姉妹校提携をし、夏季休業中に3大学での海外研修を実施している。また、ブラックヒルズ州立大学からは数名の学生が毎年、本学を訪問して交流を行っている。

食物栄養学科では、授業の一環として、病院、給食センター、自衛隊などでの給食実習を行うほか、病院や福祉施設においてインターンシップを実施し、卒業生の40%程度が栄養士の資格を生かした仕事に就き、さらに10%程度は製薬会社や食品会社での研究開発部門に就職している。

生活デザイン学科では、平成17年にオーストリアのウィーン市立ヘッツェンドルフ服飾専門学校と学術交流を始め、学生の卒業作品の交換展示などを行っている。平成19年にはイタリア・フィレンツェ市のポリモーダ専門学校と学術交流協定を結び、同専門学校の教員が本学を訪問し、学生への特別講義・デザイン指導を行っている。また、春季休業中に研修旅行の一環として、ヘッツェンドルフかポリモーダ専門学校を隔年で訪問している。

生活デザイン学科では、平成6年度から卒業研究発表会を学外で市民に公開して行い、また近隣の高校や専門学校を巻き込んだファッションショーを開催するなど、地域と連携した教育により、平成15年度には特色ある大学教育支援プログラム（特色GP）に採択された（テーマ『デザインを通じた地域との交流による教育—「学生を育てる」「地域を育てる」総合的な教育の取り組み—』）。

現キャンパスへの移転を契機に、本学は地域貢献にも特に力を入れて、毎年10以上の公開講座を開催している。

II 目的

本学は、女子に対して幅広く深い教養及び総合的な判断力を養成し、豊かな人間性を涵養するとともに、専門的な知識と技能を授け、有為な社会生活を営み、かつ地域社会の発展に貢献する人材を養成することを目的とする。目的を達成するために英語英文学科、国際文化学科、食物栄養学科、生活デザイン学科の4学科を設置している。

(学科・専攻科等ごとの目的)

英語英文学科

急速な国際化、情報化が叫ばれる現代、世界の言語のうちヒューマン・コミュニケーションの手段として最も幅広く利用されている英語と英語文化への理解を通して、英語コミュニケーション能力を身につけ、英語と英米文化に関して理解を深めることで未知なる発想様式に目を開き、国際感覚を養い、国際社会や地域社会で積極的に活躍できる人材の養成を目的とする。

上記のような人材育成のため、以下に具体的教育目標を挙げる。

- ① 国際的視野に立ち、英語と英米文化を理解するため、英米地域の言語様式を学び、文学などを通して英米人が築き上げてきた発想様式を認識させる。
- ② 英語の運用能力向上に関しては、全員が卒業時までには実用英語検定2級合格およびTOEIC530点以上の得点を目標とし、すでに実用英語検定2級を合格しているものには、準1級を目指して英語力の更なる向上に努めさせる。

国際文化学科

世界の多様な文化や価値観を理解し、言語コミュニケーション能力や情報コミュニケーション能力を身につけ、国際化・情報化した現在の社会において積極的・主体的に活躍できる人材の養成を目的とする。

その目的のために次の教育目標を掲げる。

- ① 自国日本を含めた世界の多様な民族文化、多様な価値観を理解し、相互の差異を認め、互いに尊重し合うことのできる、国際感覚を養う。
- ② 言語によるコミュニケーション能力の基盤として、まず日本語の運用能力や表現力のさらなる向上をはかる。同時に国際的な意思疎通と相互理解のために、国際共通語としての英語力を充実させ、さらに昨今その重要度を増している中国語、韓国語の基礎的な語学力を身につける。
- ③ 情報化社会の中で生きていくために必要なコンピュータによる情報収集能力、情報処理能力、自己表現能力、通信技術など、コンピュータについての実用的な能力を身につける。全員が日本語ワープロ検定2級、情報処理技能検定2級の取得をめざす。

食物栄養学科

人々の健康維持・増進を図ることを目的に、人体、疾病、食品関係など幅広い分野の専門知識を身につけ、健康な食生活を企画・実践できる人材と、地域社会において栄養指導などに積極的役割を果たせる栄養士の養成を目標とする。

上記のような人材育成のため、次のような具体的教育目標を掲げる。

- ① 栄養や食生活の面から健康について学ぶばかりでなく、人体の構造と機能、食品と衛生、各種疾病の予防や食事療法、栄養の指導、給食の運営に至るまでの幅広くきわめて重要な分野を学ぶ。
- ② 実験・実習・卒業研究などを通して、高度な専門知識・技能のほか、協調性やコミュニケーション力などを向上させる。

- ③ 本学独自の開講科目により、管理栄養士に必要な知識も一部先行的に学ぶ。
- ④ 実践教育にも積極的に取り組み、インターンシップや卒業研究で地域との連携も図る。

生活デザイン学科

ファッション、建築・インテリア、グラフィックの分野において、素材選定から設計、制作に至るデザインの専門知識や技能を身につけ、人々の生活環境の向上に活躍できる人材の養成を目的とする。学科には、ファッションデザイン専修、感性デザイン専修の2専修をおき、さらに前者にはファッションデザインコースとファッションビジネスコース、後者には建築・インテリアデザインコースとグラフィックデザインコースを設けている。各コースの教育目標は次のとおりである。

① ファッションデザインコース

衣服の製作、テキスタイル特性や色彩に関する知識や技術、感性や発想の表現方法を身につけ、デザイナーやパタンナーなど、アパレル企業でクリエイティブに活躍できる人材を目指す。

② ファッションビジネスコース

衣服素材の物性や商品知識、商品の企画、流通の仕組みを修得し、ファッション商品の流通ビジネスの分野で活躍できる人材を目指す。卒業と同時に2級衣料管理士資格が取得できる。

③ 建築・インテリアデザインコース

建築やインテリア空間の意匠設計だけでなく、構造、環境、設備に関する基礎的な知識や設計技術を修得し、住宅メーカー、建築設計事務所、インテリアデザイン事務所などで活躍できる人材を目指す。卒業と同時に2級建築士、実務経験4年を経て1級建築士の受験資格が取得できる。

④ グラフィックデザインコース

視覚表現の基本的な技術と知識、発想方法をはじめ、ポスター、パッケージ、Web、書籍などの各メディアの制作を通し、視覚的訴求力を高めるための表現方法を修得し、印刷・出版業界でクリエイティブに活躍できる人材を目指す。